



ANCHOR BIRDS®

<http://anchor-birds.jp>

内部コーントルク式

コンクリート用

W1/2

(再) アンカー本体
の再使用可能

インパクト(レンチ or ドライバー)で施工可能! 設置・撤去がスムーズに!!

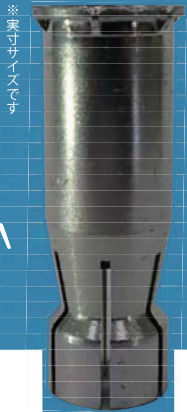
設置・撤去が簡単

安全を可視化

コンクリート表面の美観は錆計対策

再使用可

一般的なアンカーボルトはハンマーを使用し、打撃により強度を発現させるため、作業員の熟練度により強度のバラつきが発生する可能性があります。アンカーバードは、誰が施工してもインパクトレンチやインパクトドライバーで施工することにより、トルクの力で強度を発現し、引張強度のバラつきを最小限に抑えます。また、埋め込まれたアンカーは、そのままにしておくことでサビが原因で外壁を汚したり、コンクリート躯体にひび割れが発生させる原因となりますが、アンカーバードは、撤去可能なため、これらの問題を解決します。



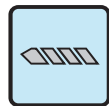
※実寸サイズです

アンカーバードの機構

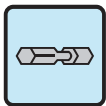


アンカーバード
「ボディ」と「コーン」の
2部品で構成されています。

施工に必要なツール



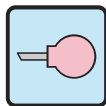
ハンマードリル
φ18.0mm
(3または4枚刃推奨)



六角ビット
(6mm)



インパクトレンチ
または
インパクトドライバー

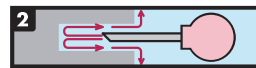


ポンプ
(孔内清掃用)

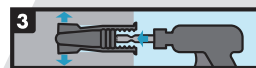
取付け手順



1 ハンマードリルを使用し、
穿孔する



2 孔内を清掃する



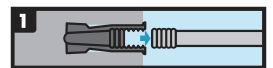
3 アンカーバード本体を
孔内に挿入し、インパクトレンチ
またはインパクトドライバーにて
トルクを加える



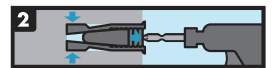
4 内部コーンの挿入量を検尺し、
設置完了

※コーン挿入量が不足する場合は増し締めをしてください

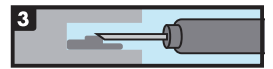
取外し手順



1 取付け部材を撤去



2 インパクトレンチまたは
インパクトドライバーを使用し、
内部コーンを
ボディ末端部まで戻す



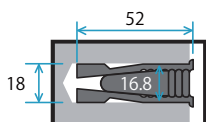
3 アンカーバード本体を
抜き取った後
補修材にて孔を充填する



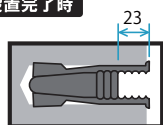
完了

断面図 [単位:mm]

本体挿入時



設置完了時



※コンクリート圧縮強度 21N/mm²

アンカーバード(コンクリート用)寸法表[単位:mm]

※2019年5月1日現在

ネジの呼び	アンカー外径	全長	有効ネジ長	アンカー埋込長さ	穿孔深さ	締付トルク	穿孔径	引張荷重※
W1/2	16.8	52	20	52	55	30N・m	18.0	25.82kN

※引張荷重は、引張試験時のコンクリート圧縮強度21N/mm²に基づく数値です

御見積もり・ご相談などお気軽にお問い合わせください。

アンカーバード最新情報などお得な情報をお届けします。

⚠ これはカタログ値です。使用に際しては、取扱説明書の手順に沿って施工してください。

⚠ アンカー本体を再使用する際は「再使用に関する注意事項」をよくお読みになってからご使用ください。

※製品改良の為に予告なしに仕様等を変更する場合があります。

※無断複写・転載禁止



「再使用に関する
注意事項」の
DLはこちら



施工動画など
詳細はこちら

25本入



< 製造元 >

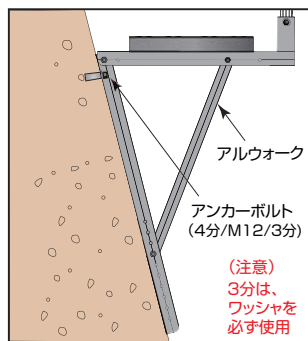
株式会社 ANCHOR BIRDS

〒425-0015 静岡県焼津市石脇上 615-1

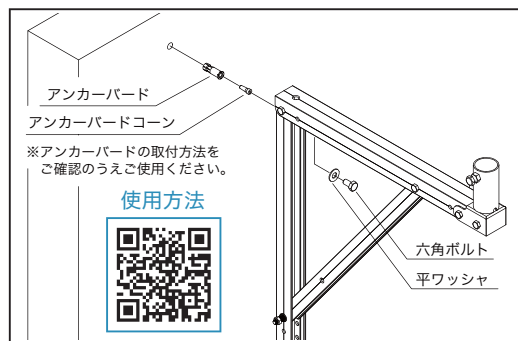
アルワークのアンカーボルト固定について

アルワークを擁壁にアンカーボルトで固定する際は、上部1箇所へ4分(M12)orM12のアンカーボルトをご使用ください。
また、3分のアンカーボルトを使用する場合は、ワッシャを必ず使用してください。

アンカーボルトの場合

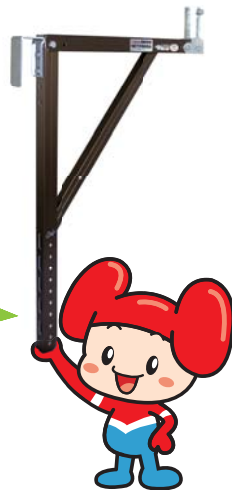


アンカーボード取り付け例



アルミ垂直傾斜面用
足場ブラケット
アルワーク

1本**4.3kg**
と軽量!!
※フックなし



アルワーク取付手順



ハンマードリルを使用し、穿孔する



孔内を清掃する



アンカーボード本体を孔内に挿入



アンカーボードの設置完了



アルワーク躯体直付用の穴と
壁に空けた孔を合わせる



六角ボルトと平ワッシャで固定する



アルワークの設置完了



アルワーク
取付動画はこちら

製品詳細

型番	AB-4052HS
入数	25本
備考	六角ボルト、平ワッシャ付

